

1310



662

年	月	日	所	着	配	屬	記
一六	三	四	横須賀	横須賀	横須賀	横須賀	軍需品 一四九五三屯
一六	三	三	横須賀	横須賀	横須賀	横須賀	人負 一八九名
一六	三	五	横須賀	横須賀	横須賀	横須賀	輸送
一六	三	六	東京	東京	東京	東京	
一六	三	三	東京	東京	東京	東京	
一七	一	二	文島	文島	文島	文島	
一七	一	五	サイパン	サイパン	サイパン	サイパン	

大東亞戰爭徵備船第二新丸行動概見表
 横須賀地方海軍運輸部長海軍

事

海軍

(双文館)

664

3

第三日新丸

一七 三 二	一七 三 六	一七 二 四	一七 二 一	一七 二 〇	一七 二 九	一七 二 九	一七 二 八	一七 二 八	一七 二 七	一七 二 五	一七 二 八	一七 二 七
	トラツク		トラツク		オロール		ナモケツク			メレヨン	横須賀	
ミレ		トラツク		トラツク		オロール		ナモケツク		メレヨン	横須賀	

海
原

(原文照納)

666

5

第二日彩丸

一七五二九	一七五二九	一七五二八	一七五二七	一七五二六	一七五二五	一七五二〇	一七五二〇	一七五一九	一七五一七	一七五一四	一七五一四	一七五一二
	吳		串本		横須賀		三崎沖		黄幡		吳	
鹿ノ川		吳		串本		横須賀		三崎沖		黄幡		吳

海

環

(双文館納)

0138

668

手項 月日		所	在	配	屬	記	事
一六、一、三五		發	着	横			
一六、一、二六				鎮			
一六、一、二九		吳				人員	六三三名輸送
一六、一、三〇		平都島沖					
一七、一、一六			ガバオ				
一七、一、一四		ガバオ					
一七、一、一八			タラカン				
一七、一、二一		タラカン					
一七、一、二三			バルタシ				

大東亞戰爭徵備船日帝丸行動概見表
 横須賀地方海軍運輸部長海軍

(及文館納)

海軍

669

2

日帝丸

一七、三、六	一六、三、五	一七、三、四	一八、三、四	一七、三、二	一六、三、二	一六、二、二〇	一六、二、二〇	一六、二、一八	一六、二、一五	一六、二、一〇	一七、二、五
横濱		八丈島		父島		カラスマオ		パラオ		ダバオ	バルタシ
	横濱		八丈島		父島		カラスマオ		パラオ		ダバオ

海

軍需品四〇五七輸送

(双文館納)

670

一七四六 倭 查 保

一七、四、二	一七、四、二	一七、四、一	一七、三、三	一七、三、八	一七、三、五	一七、三、五	一七、三、五	一七、三、五	一七、三、五	一七、三、九	一七、三、八	一七、三、七
	崎 戸		鎮 南 浦		川 司		彦 島		田 ノ 浦		大 島 北 側	
倭 查 保		崎 戸	鎮 南 浦		川 司		彦 島		田 ノ 浦		大 島 北 側	

海 軍

(双文館納)

671

一六、四、一九	一六、四、一八	一六、四、一七	一六、四、一七	一六、四、一六	一六、四、一五	一六、四、一五	一六、四、一三	一六、四、一一	一六、四、一〇	一六、三、〇九
大股	門司	都峯	都峯	大島泊地	大島泊地	四日市	大島泊地	大島泊地	西戸崎	西戸崎
<p>軍需品一〇、九八八 人員一一名輸送</p>										

日帝丸

西戸崎

海軍

(双文館納)

672

45

日帝丸

一七、五、一三	一七、五、一一	一七、五、二一	一七、五、五	一七、五、五	一七、四、三〇	一七、四、二八	一七、四、二六	一七、四、二五	一七、四、二五	一七、四、二四
基隆		高雄		高雄防禦海面外	鎮南浦		門司		部崎	大段
	基隆		高雄	高雄防禦海面外		鎮南浦		門司		部崎

海軍

(双文館納)

673

56

日帝丸

一七、五、一六	西方沖	西方沖
一七、五、一七	西方沖	西方沖
一七、五、一九	神田和田岬	神田和田岬
一七、五、一九	神田和田岬	神田和田岬
一七、五、一九	大島錨地	大島錨地
一七、五、二〇	大島錨地	大島錨地
一七、五、二〇	大島錨地	大島錨地
一七、五、二〇	四日市	四日市
一七、五、二三	四日市	四日市
一七、五、二四	東京	東京
一七、五、二八	東京	東京
一七、五、三一	大湊	大湊

海軍

(双文館納)

674

7

年 月 日	所 在	配 屬	記 事
一六三三	大阪		
一六一九	吳		
一六一七	横須賀		
一六三三	父島		
一六三三	母島		
一六三三	硫黄島		
一六三三	硫黄島	横須賀鎮守府	輸送 人 員 一 九 二 名
一六三三	南鳥島	横須賀鎮守府	軍需品 一 三 〇 四 屯

大東亞戰爭徵備船日新丸行動概見表
 横須賀地方海軍運輸部長海軍

(及文館納)

海軍

0145

675

2

日新丸

一七一 一三七	一七一 一三六	一七一 一三四	一七一 一三三	一七一 一三三	一七一 一三二	一七一 一三八	一七一 一三八	一七一 一三六	一七一 一四〇	一七一 一四〇	一七一 一四
	ウオツケエ		夕ロア		イミエジ		ホナペ		トラツク		パラオ
ルオツト		ウオツケエ		夕ロア		イミエジ		ホナペ		トラツク	パラオ

海

軍

(双文併納)

0146

3

676

日新丸

一七 三 百	一七 三 八	一七 二 百	一七 二 三	一七 二 九	一七 二 八	一七 二 七	一七 二 四	一七 二 三	一七 二 八	一七 一 三 一	一七 一 二 九	一七 一 二 九
大島		東京		大阪		吳		横須賀		クエゼリン		ルオット
	大島		東京		大阪		吳		横須賀		クエゼリン	

海軍

(双々船)

677

一七 四	一七 四	一七 四	一七 四	一七 四	一七 三	一七 三	一七 三	一七 三	一七 三	一七 三	一七 三
五	四	三	八	四	八	六	三	二	一	六	三
ラ バ ウ ル		シ ョ ト ラ ズ ド			パ ラ オ		ト ラ ワ ク			ク エ セ リ ン	ウ オ ワ ケ エ
	ラ バ ウ ル		鹿 ノ 川	横 須 賀		パ ラ オ		ト ラ ワ ク		ク エ セ リ ン	ウ オ ワ ケ エ

目新丸

海軍

(漢文書)

0148

678

5

日新丸

									一七 五 三 一	一七 五 三 一
									大 阪	ト ラ フ ク

海

軍

(文庫館)

679

原目		所	著	配	属	記
自一七、三、三五				廣東警備隊配屬西江		主として西江方面にありて同方面に警備任務を執行す。敵艦の襲撃に對しては、浮流機雷を以て防禦す。
自一七、五、三一				廣東警備隊指揮官佐野		
				指揮下ニ		

大東亞戰役後備船航行動概覽表 (二隻船)

廣東警備隊 廣東警備隊司令海軍大佐山村伴三

(99)

(双文併納)

海軍

680

年月日	項目	所	在	配	屬	記	事
一六三二五	二見	發	着	横須賀鎮守府	軍需品	二〇五七屯	
一六三二七			吳			人員	三五七一名
一七一三三			大島島			輸送	
一七一三八			横所				
一七一三三			上海				
一七一三五	上海						
一七一三八			吳				
一七一三九	吳						

大東亞戰爭徵備船新田丸行動概見表
 横須賀地方海軍運輸部長海軍

(叙文館納)

海

軍

0152

682

3

新田丸

										昭 一七 五 一	一七 四 五	一七 四 五
										解 備	横 須 賀	横 須 賀
											横 濱	

海
軍

(双文館納)

0153

683

寫

年月日	項目	場所	在	配	記
昭和十六年五月一日		吳	柱島	日海軍々需部配属	柱島へ燃料供給 六回 吳軍港内ニ於テ燃料運搬 補給ニ從事
昭和十六年五月二日					
昭和十六年五月三日					
昭和十六年五月四日					
昭和十六年五月五日					
昭和十六年五月六日					
昭和十六年五月七日					

大東亞戰役徵備船舶行動概覽表

第十八日寶丸

(竹 秀 總)

海軍



684

年月日		項目	場所	船名	記
昭和	一七	一六			
至	一六	一八			
〃	一六	一八	徳山		
〃	一六	一八	佐世保		
〃	一六	一八	呉		
			呉海軍支隊部配属		
			(徳山支部)		
			徳山港内ニ於テ燃料運搬		
			燃料輸送		
			呉及廣ノ燃料輸送ニ從事		

大東亞戰役艦船行動概見表 日興丸

(付列箱)

海軍

685

年	項	日	所	在	配	属	記	事
至日 一三 一七	天 一三 一七	六	吉見	吉見				
至日 一三 一七	天 一三 一七	六	吉見	吉見				
至日 一三 一七	天 一三 一七	六	吉見	吉見				
至日 一三 一七	天 一三 一七	六	吉見	吉見				
至日 一三 一七	天 一三 一七	六	吉見	吉見				
至日 一三 一七	天 一三 一七	六	吉見	吉見				
至日 一三 一七	天 一三 一七	六	吉見	吉見				
至日 一三 一七	天 一三 一七	六	吉見	吉見				
至日 一三 一七	天 一三 一七	六	吉見	吉見				
至日 一三 一七	天 一三 一七	六	吉見	吉見				

大東亞戰爭中、海軍行動檢見表

第三日正丸 下関防備隊司令海軍大佐園田 巨升

所 在 配 属 記 事

下関防備隊 下関防備隊 廣島縣幸崎ニ於艦裝

吳ニ於テ艦裝

下関防禦隊海軍中將 園田 巨升

海 軍

686

分三日正丸

至日 一	至日 二	至日 三	至日 四	至日 五	至日 六	至日 七	至日 八	至日 九	至日 十	至日 十一	至日 十二
吉見				吳			吉見	彦島		明司	
下関				吉見			吳		吉見	彦島	
	合	合	下関防制海面警戒		入渠修理				修理	補給	
	右	右	二日								
	八回	六回									

海軍

4970

687

才三日正丸 3

							至自	至自
							〃	〃
							三八	七二
							下関防繋海西管成	修理
							五回	

海
軍

688

年月	項目	船名	所	着	配屈	船番	備考
自一八五二 至一九三二	吉見	カニ正丸	下防	下防	三三五六	總噸數	下防防備隊司令海軍大臣坪井大佐衛門
一九三二	横須賀						訂正
一九三三	横須賀						下防防備隊司令海軍大臣坪井大佐衛門
一九三三	横須賀						自二月二日至五月二十七日大海参艦機密
一九三三	横須賀						一九三五番電ニ依リ南洋方面緊急出動
一九四三	横須賀						送任務ニ従事
一九四八	横須賀						
一九四九	横須賀						
一九五七	横須賀						
一九五七	吉見						

大東亞戰爭徵備船舶行動概見表(甲) 自昭和十八年五月一日起至昭和十九年五月三十一日

下関防備隊 下関防備隊司令海軍大臣坪井大佐衛門

事

海軍

689

年	月	日	項目	所	在	配	属	記	事
山	六	二	三〇	大阪	吳	下関防備隊		十日三日迄大阪に於て艦装	
			一三	吳				吳に於て艦装	
			七						
			八		吉見				
			九						
			一〇						
			一一						
			一二						
			一三						
			一四						
			一五						
			一六						
			一七						
			一八						
			一九						
			二〇						
			二一						
			二二						
			二三						
			二四						
			二五						
			二六						
			二七						
			二八						
			二九						
			三〇						
			三一						
			三二						
			三三						
			三四						
			三五						
			三六						
			三七						
			三八						
			三九						
			四〇						
			四一						
			四二						
			四三						
			四四						
			四五						
			四六						
			四七						
			四八						
			四九						
			五〇						
			五一						
			五二						
			五三						
			五四						
			五五						
			五六						
			五七						
			五八						
			五九						
			六〇						
			六一						
			六二						
			六三						
			六四						
			六五						
			六六						
			六七						
			六八						
			六九						
			七〇						
			七一						
			七二						
			七三						
			七四						
			七五						
			七六						
			七七						
			七八						
			七九						
			八〇						
			八一						
			八二						
			八三						
			八四						
			八五						
			八六						
			八七						
			八八						
			八九						
			九〇						
			九一						
			九二						
			九三						
			九四						
			九五						
			九六						
			九七						
			九八						
			九九						
			一〇〇						

大東亞航路船行勤檢更表
 第土回東丸
 下関防備隊司令海軍大佐 園田 月升

海軍

0160

第十卷
自東丸

690

	至白 五	至白 三〇	至白 二六	至白 二〇	至白 一九	至白 一八	至白 三三 一七	至白 一六	至白 一五	至白 一四	至白 七	至白 三六
	吉見		小瀬产 吉見		吉見 小瀬产			吉見	佐伯			吉見
	小瀬产		吉見		小瀬产		吉見		佐伯			佐伯
			下関防禦海面警戒 二回		榑欄 手入			下関防禦海面警戒 二回			講羽 佐伯泊	
		一九回					三回					

海
軍

692

船名		大東亞戰爭徵備船舶行動概見(甲)	
項目		昭和十八年十一月一日 至昭和十九年五月三十一日	
年月日	所	船番	記
自十八年十一月 至十九年五月三十一	下関防備隊	第七日東丸	下防防備隊司令海軍大佐 坪井大佐衛門
	所在	配属	下防防備隊西面哨戒隊 交通管制五二回
		船番	三七六三〇
		噸數	一七六八三噸
		車	

海軍

693

					至前 一九五五 五五	年月日	項目	船名	第十日東丸	船番號	三七六九	總噸數	一七六八三噸	大東亞戰爭徵備船舶行動概見表(甲)	
					吉見		發	下防	下防	下防	記	下防	下防	下防	自昭和十八年十二月一日
					吉見		着	在	下防	下防	記	下防	下防	下防	至昭和十九年五月三十一日
					吉見		配	屈	下防	記	下防	下防	下防	下防	
					吉見		記	事	下防	記	下防	下防	下防	下防	

海軍

695-

第十日東丸

至月 五 一 九	至月 四 三 〇 八	至月 一 七	至月 一 六	至月 一 三	至月 一 二	至月 三 一 一 九	至月 一 六	至月 一 五	至月 一 四 八	至月 一 七	三 六
吉見		小瀬 産		吉見				佐 伯			吉見
小瀬 産		吉見		下 瀬 産			吉見			佐 伯	
〃	下関防衛海商哨戒 一 一 日		林関手入		〃	下関防衛海商哨戒 一 一 日			講習ノ夕々佐伯泊		
一 三 日					八 日	一 三 日					

海

軍

